

それでは、東浦町のチームオレンジの取り組みについて、これから発表させていただきます。

私、東浦町高齢者相談支援センターの岩田と申します。

よろしくお願ひします。

オレンジパラソルの道家です。よろしくお願ひします。

同じく宮池です。よろしくお願ひします。

それでは、画面共有をさせていただきます。

東浦町の認知症サポーター取り組みについて発表させていただきます。

「認知症にやさしいまちを目指して」と題しまして、

東浦町の認知症事業と、その中におけるチームオレンジ、オレンジパラソルさんの取り組みについて発表させていただきます。

オレンジパラソルさんにつきましては、結成から現在の活動の内容につきまして、ご発表いただきたいと思ひます。

途中、県の方からもご指示ありましたが、動画の放映に伴いまして、カメラ機能のオフをお願ひすることがありますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

それではまず、町内の事業についてご説明いたします。

まず、東浦町の概要になります。

東浦町は人口5万人超となります。

高齢化率は25.7%、日常生活圏域は3となっております。

地域包括支援センターの数は、私ども、社会福祉協議会が委託を受けております1ヶ所となっております。

要介護認定率は17%。

初期集中支援チームは私どもの包括の中に1ヶ所設置してあります。

町の特徴としては、名古屋市や豊田市まで、車や電車で30分程度で行ける距離にありますので、名古屋市や、豊田市で働かれる方のベッドタウンになっております。

また、近隣に、国立長寿医療研究センターや認知症介護研究・研修センターが設置されており、認知症についての相談、それから、取り組みがしやすいまちとなっております。

町内にはコミュニティが6か所ありまして、それぞれ特徴が違っており、高齢化率に差があるのも特色です。

また、認知症地域支援推進員は3名、こちらも包括支援センターにおります。

私ども東浦町では、現在、第1次地域福祉計画が策定されており、これに沿って活動を始めております。

基本理念としては、みんなが笑顔で支え合う、集えるまちとさせていただいており、四つの基本目標を立てさせていただいております。

今回、活動発表させていただきますオレンジパラソルさんは、このうちの4、誰もが福祉への関心や理解、知識を持ち、「福祉意識」が高い、どんな人にも優しいまちを目指して活動させていただいております。

また、私ども東浦町は、県内市町村としては、5番目に当たります、認知症条例を昨年度策定させていただきました。

「東浦町 認知症にやさしいまちづくり推進条例」としまして、このような基本理念にのっとり活動させていただいております。

それでは、町内の認知症事業をオレンジプランの七つの柱に沿ってご説明させていただきます。

まずは認知症への理解を深めるための普及啓発の推進としまして、東浦町では、アルツハイマー月間の9月に合わせて、おれんじ月間と称しまして、町内の、企業さんですとか事業所が伴って一緒に啓発活動、開催を予定しておりました。残念ながら、コロナ禍で中止となってしまいましたが、2月に再度企画をさせていただきます。

こちらについては、後述させていただきます。

また、認知症サポーター養成講座も毎年開催をさせていただいております。

町内の小・中学校、商工会、大型ショッピングセンターなどに開催をさせていただいております。

こういった認知症サポーター養成講座は、大規模開催を主としておりまして、コロナ禍で、なかなか開催が難しくなっております。

昨年度から、小さな認知症サポーター養成講座を開催する方向で調整をしております。

認知症、フォローアップ講座も毎年1回開催をさせていただいております。

こちらアルツハイマー月間に合わせての開催を企画しておりましたが、残念ながらコロナ禍で、今年度は中止となっております。

また2月に再企画をさせていただいておりますので、後程ご案内をさせていただきます。

他にも、先ほどご説明させていただきました通り、初期集中支援チームも1チーム、東浦包括の方に配置をさせていただいております。

5名の認知症サポート医の先生と、毎月1回輪番制で、チーム員会議を開催させていただきます。

またケアサポートガイドも本年度から、新しいものを作成させていただきました。

こういったものも町内に配布をさせていただいております。

また令和 3 年度から、認知症の方の社会活動の場として、もともとあった喫茶店を利用しての認知症の方の活動の場を作っております。

カフェをやっていたのですが、コロナ禍でなかなか開館することが難しくなっていました町内の古民家カフェを利用して、認知症の方がスタッフとして活躍していただける場を、次に 1 回開いております。

また後で説明させていただきますが、東浦町内には認知症カフェが四つあります。

そのうちの包括主催型のカフェには、今回発表していただく、オレンジパラソルさんとはまた別のチームオレンジの方が活躍をさせていただいております。

また、認知症にやさしい地域づくりの推進としまして、行方不明高齢者の捜索訓練、認知症高齢者の賠償事故補償保険など町の事業として、させていただいております。

そして、今年度重視しております、認知症の人やその家族の視点、これのために、認知症の方の体験をしていただけるような VR 体験会、それから当事者の方に向けた、私の思いアンケートというものを実施させていただいております。

このように、推進員の取り組みといたしまして、平成 28 年から、認知症サポーター養成講座や認知症カフェなど、普及啓発に主に取り組んでおりましたが、近年になりまして、当事者理解や当事者参加、当事者の目線に立った事業というのが重視されており、こちらにも力を入れております。

東浦町内には、チームオレンジを 2 ヶ所設置させていただいております。

1 ヶ所が先ほど発表させていただきました、町内の認知症カフェ、ひだまりカフェ、包括主催型のカフェになりますが、こちらで配膳のお手伝いとか、脳トレの補助、会話の仲介などをしていただけるサポーターさんになります。

こちらは、毎週水曜日、福祉センターの方で活動させていただいております。

そして、もう 1 チーム、これが、今回発表させていただきますオレンジパラソルさんになります。

小中学校での認知症サポーター養成講座内での認知症対応劇の披露、その他啓発活動などに参加をさせていただいております。

これからオレンジパラソルさんには、結成のきっかけや活動内容について発表していただきたいと思っております。

オレンジパラソルさん、よろしく願いいたします。